

土砂災害から市民のいのちとくらしを守る ～下高湯沢第1砂防堰堤完成披露会を開催～

福島県福島市町庭坂地内において、須川流域における土石流災害や流木災害の防止を目的に整備を進めてきた下高湯沢第1砂防堰堤が、令和4年3月に完成しました。本堰堤は、近年多発している豪雨における災害などで見られた土石流災害に対応する不透過型の砂防堰堤です。本堰堤の完成を記念して、地域の皆様や小学校児童をお招きし、下記のとおり完成披露会の開催にあわせて、砂防施設の効果を体験できる模型実験を実施いたします。

※下高湯沢第1砂防堰堤の概要については、別添資料を参照願います。

記

1. 日 時 : 令和4年7月12日(火) 10:00～11:30 (小雨決行)
2. 場 所 : 完成式典:高湯温泉観光協会駐車場
施設見学:下高湯沢第1砂防堰堤
(福島市町庭坂地内・別添位置図)
3. 次 第 : (1)完成披露会
①主催者あいさつ
②来賓紹介
③地元代表あいさつ 吾妻地区自治振興協議会会長
④説明板除幕
(2)完成披露会后、庭塚小学校児童による土石流模型実験、
下高湯沢第1砂防堰堤での記念撮影を実施予定
4. 注意事項: ・取材の際は、7/12(火)8:30迄に御連絡をお願いします。
(天候等により中止となる場合お伝えします)
・前日の天気予報により、明らかに中止と判断される場合は、事前にお知らせいたします。
・取材される方は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、手指の消毒マスク等の着用、参加者間の適切な距離確保等をお願いします。
・会場付近は道幅が狭く、駐車スペースも限られておりますので、安全のため係員の誘導に従ってください。

記者発表先 : 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

【お問い合わせ先】

- 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
TEL : 024-546-4331(代表)
ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

工務第一課 課長 須藤 誠元、建設専門官 毛利 陽司

【下高湯沢第1砂防堰堤までの経路】

【別添位置図】



地理院地図に経路情報等を追記して掲載

会場位置図(拡大図)

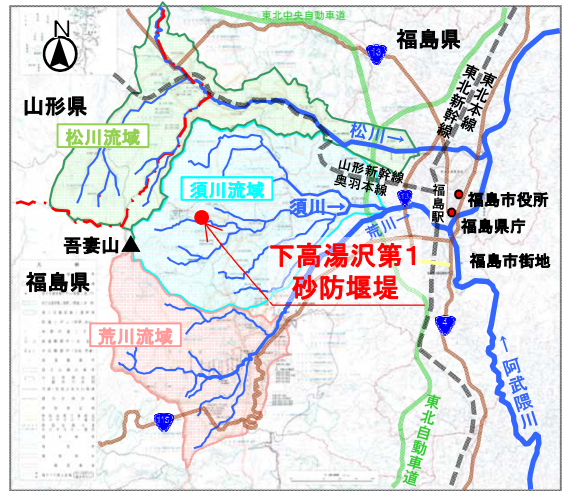


地理院地図に経路情報等を追記して掲載

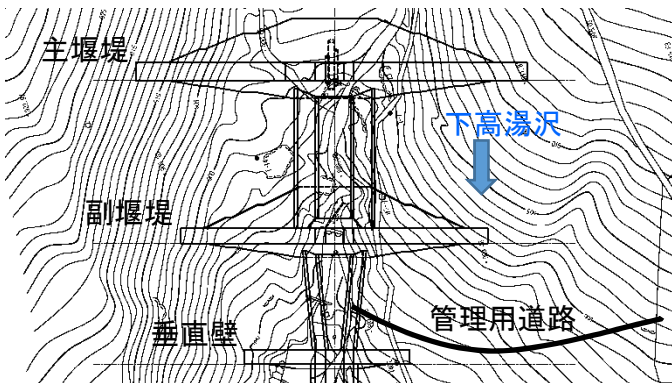
下高湯沢第1砂防堰堤の概要

下高湯沢第1砂防堰堤は、東吾妻山から流出した土砂が福島盆地の須川に堆積することによる出水の軽減と下高湯沢の谷出口における土石流被害の軽減を目的に計画されました。

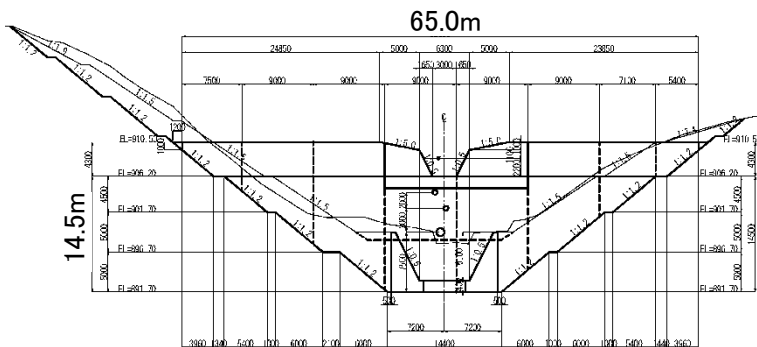
下高湯沢第1砂防堰堤は、下高湯沢流域の不透過型砂防堰堤(通称:重力式コンクリート堰堤)として土石流災害軽減の他、流木災害軽減の効果を持つ砂防堰堤として、須川流域では第16番目(下高湯沢流域では1番目)の堰堤として令和4年3月に完成しました。



平面図



正面図



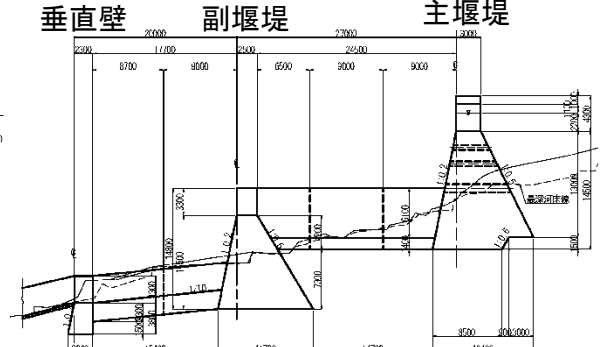
○事業効果

- ・砂防堰堤の整備により上流からの火山泥流、土砂流出による県都福島市等への被害軽減
 - ・近年多発している流木災害の軽減・福島市街地の保全
 - ・重要交通網の保全
国道4号、国道13号、東北自動車道、東北本線
山形新幹線、奥羽本線
- ※東北全域の交通へ多大な影響を与える

堰堤概要

- 着工年:平成28年9月(2016年)
- 竣工年:令和 4年3月(2022年)
- 構造:不透過型砂防堰堤
- 施設概要
型式:重力式コンクリート堰堤
堤高:14.5m
堤長:65.0m
堤体積:4,280m³
施設効果量:2,860m³

側面図



【参考】

土石流とは

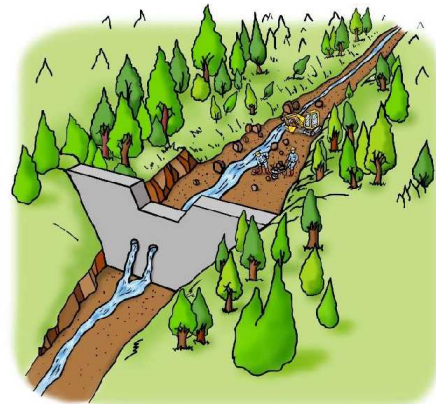
梅雨の時期や、台風が来たときなどに、雨が一度にたくさん降ると、山の一部や河岸が崩れてしまうことがあります。

その崩れた土や石や、倒れてしまった木、川の底にたまっている砂などが水と一緒に、一気に流れてくることを土石流といいます。

土石流が一気に平地に出ると、河川が埋まり洪水が発生したり、集落や農地などが土砂に埋まり大きな災害となります。

不透過型砂防堰堤のはたらき

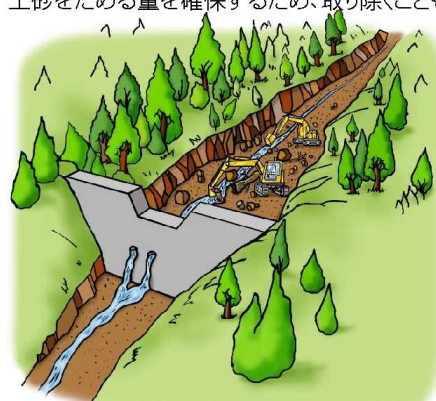
① 川(溪流)ではいつも、水と一緒に土砂も流れています。



② 不透過型砂防堰堤を設けると、堰堤の上流側に土砂が少しずつたまっていきます。土砂をためる量を確保するため、取り除くこともあります。



③ 大雨が降り土石流が発生したとき、堰堤は大きな岩や流木などを含む土砂をため、下流への被害を防ぎます。



④ 堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。